

人口減少に歯止めをかけるために 目標のあり方

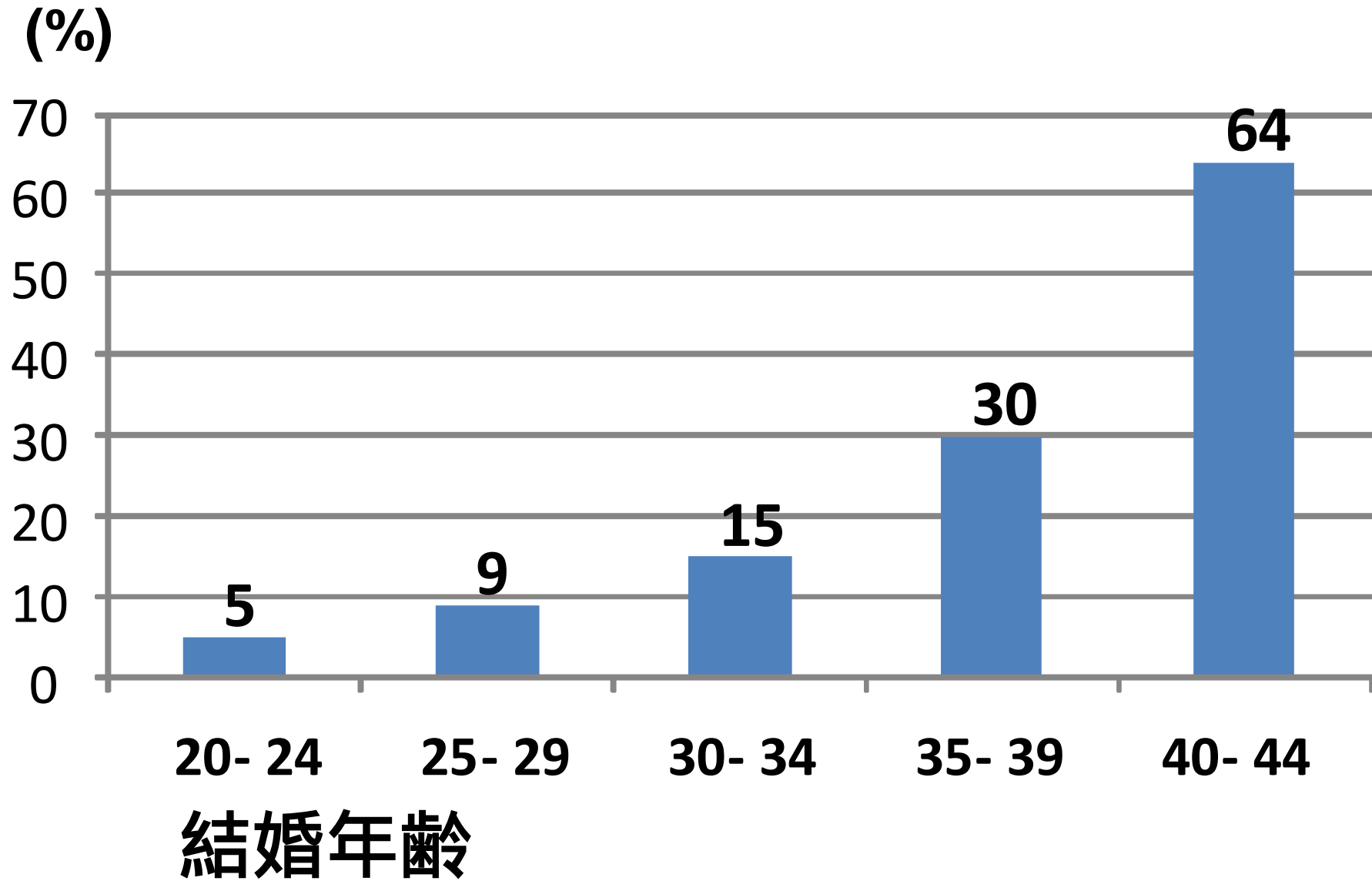
医学的に観点より 男女の妊娠適齢期からみた提言

国立成育医療研究センター
周産期・母性医療診療センター
齊藤英和

生殖能力は老化します

妊娠出産に適した時期は？

結婚年齢と生涯不妊率の関係

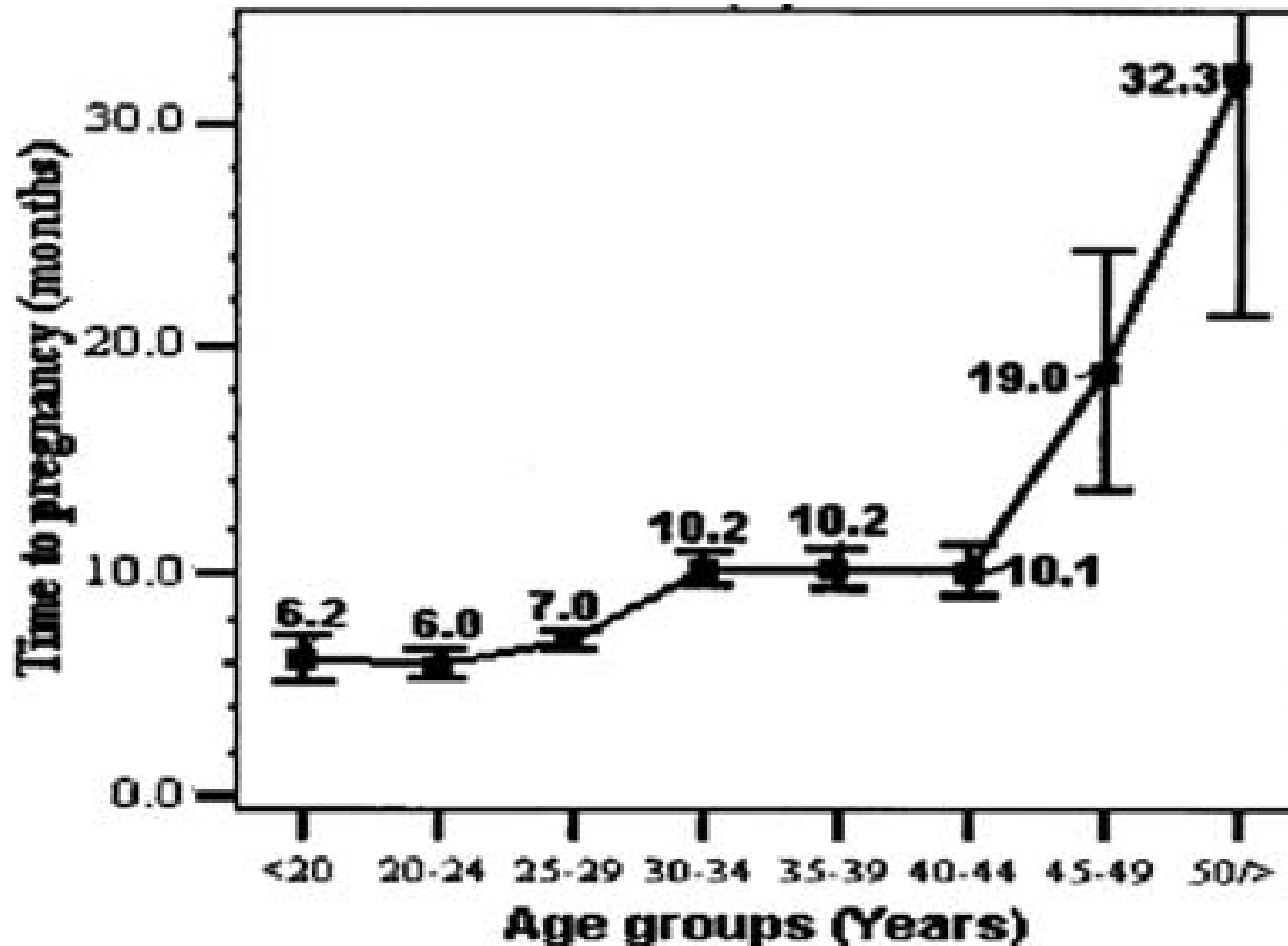


Menken J et al: Science 233(4771): 1389-94, 1986

男性の妊娠適齢期

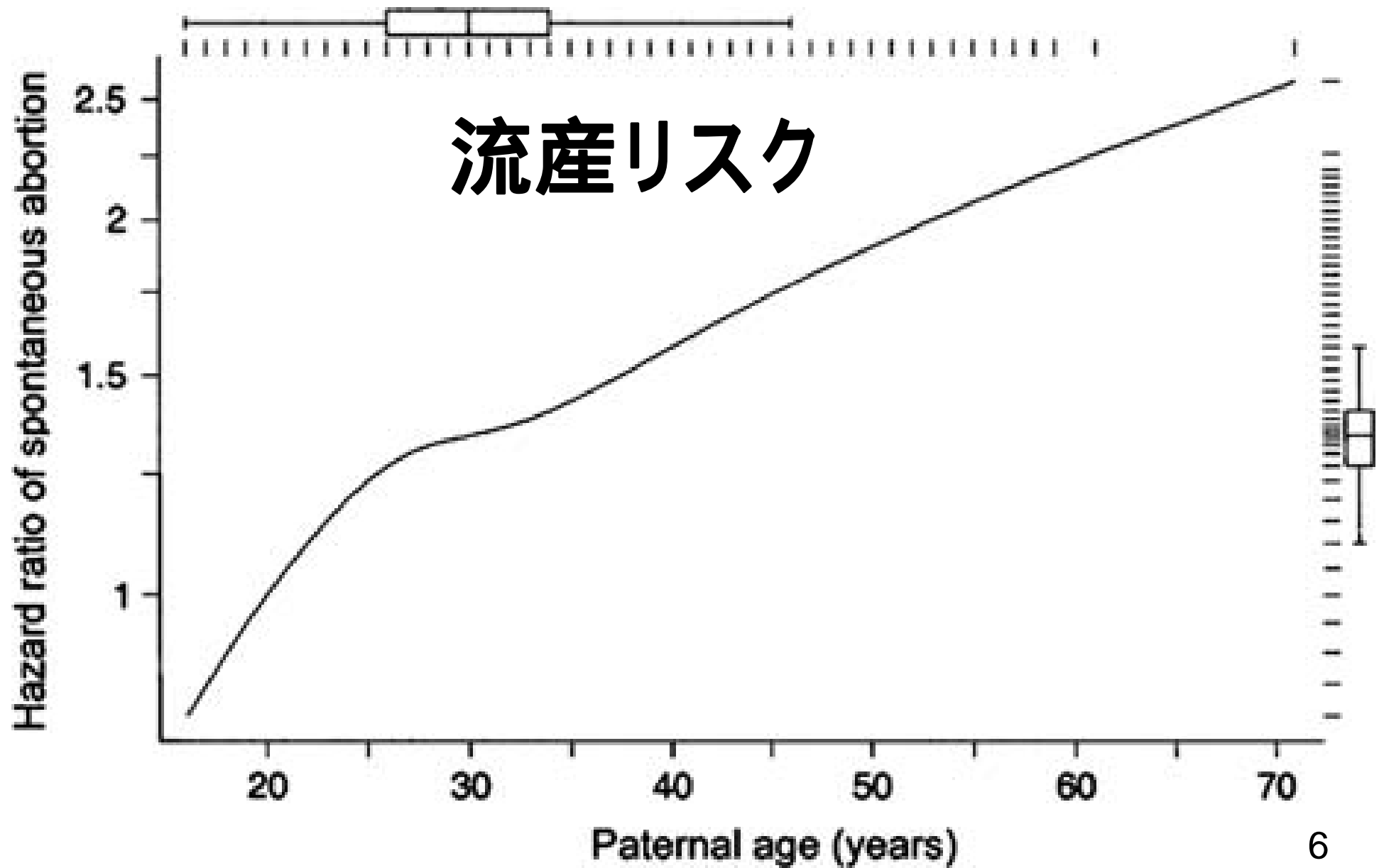
妊娠しやすく安全に産みやすい時期

妊娠に至るに要する期間



拳児を希望した時点での**男性**の年齢

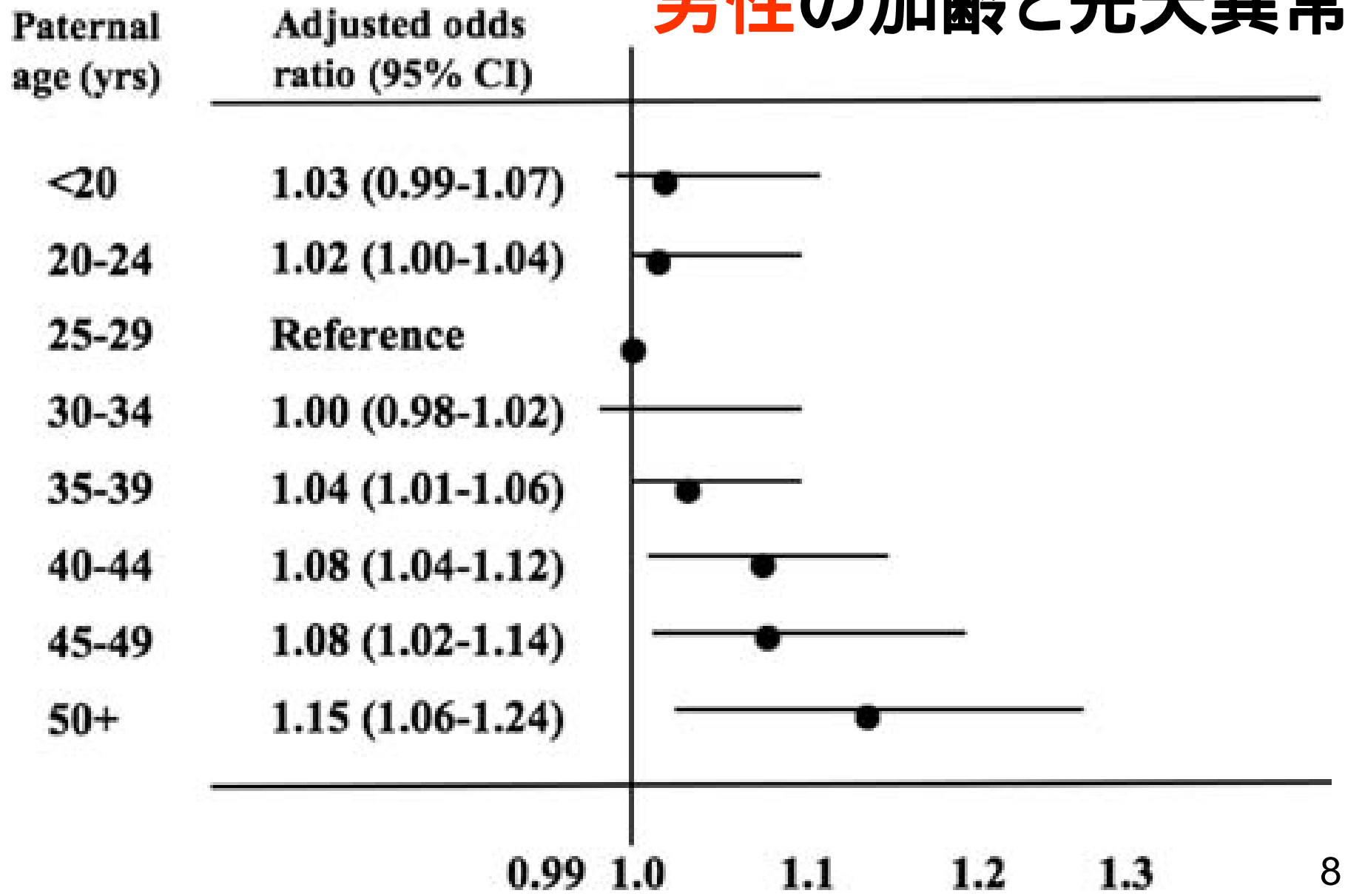
流産リスク



男性の加齢と精子の質の劣化

	40歳未満	40歳以上	両群の差
・患者数	107	41	
・精子濃度 ($\times 10^6/\text{mL}$)	95 ± 6	99 ± 58	無し
・精子運動率(%)	61 ± 14	58 ± 17	無し
・正常精子率	8 ± 2	7 ± 4	無し
・精子遺伝子の 断片化(%)	12 ± 8	17 ± 13	有り

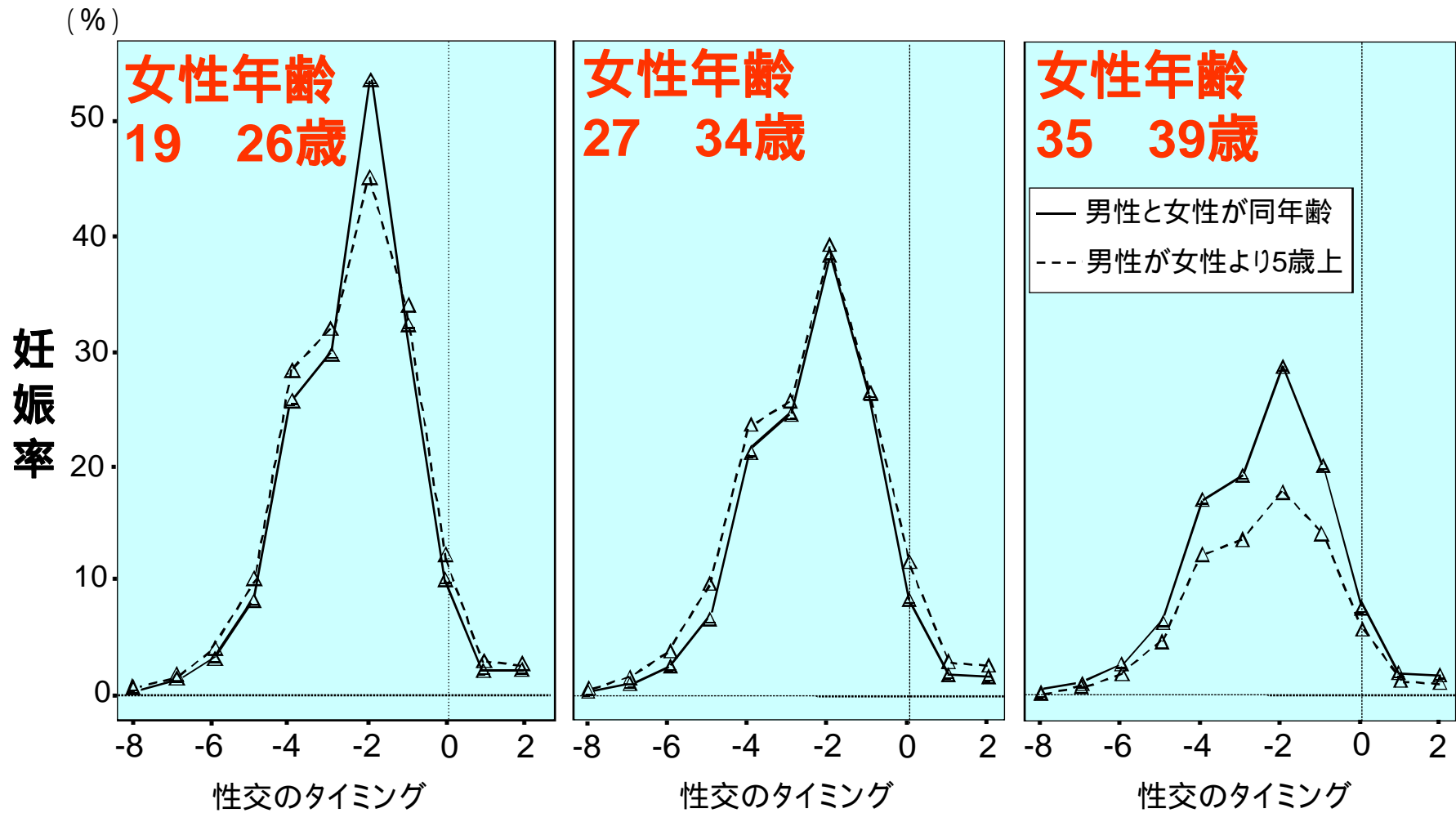
男性の加齢と先天異常



女性の妊娠適齢期

妊娠しやすく安全に産みやすい時期

年齢別にみる排卵と妊娠率の関係



0 = 排卵日 10

母の年齢と自然流産率

母の年齢が高くなるほど、自然流産率が高くなる。

年齢区分	妊娠例数	流産例数	流産率 (%)
24歳以下	90	15	16.7
25～29歳	673	74	11.0
30～34歳	651	65	10.0
35～39歳	261	54	20.7*
40歳以上	92	38	41.3*
合計	1,767	246	13.9

* 25～29、30～34歳の群と比較して有意差あり ($p < 0.01$)

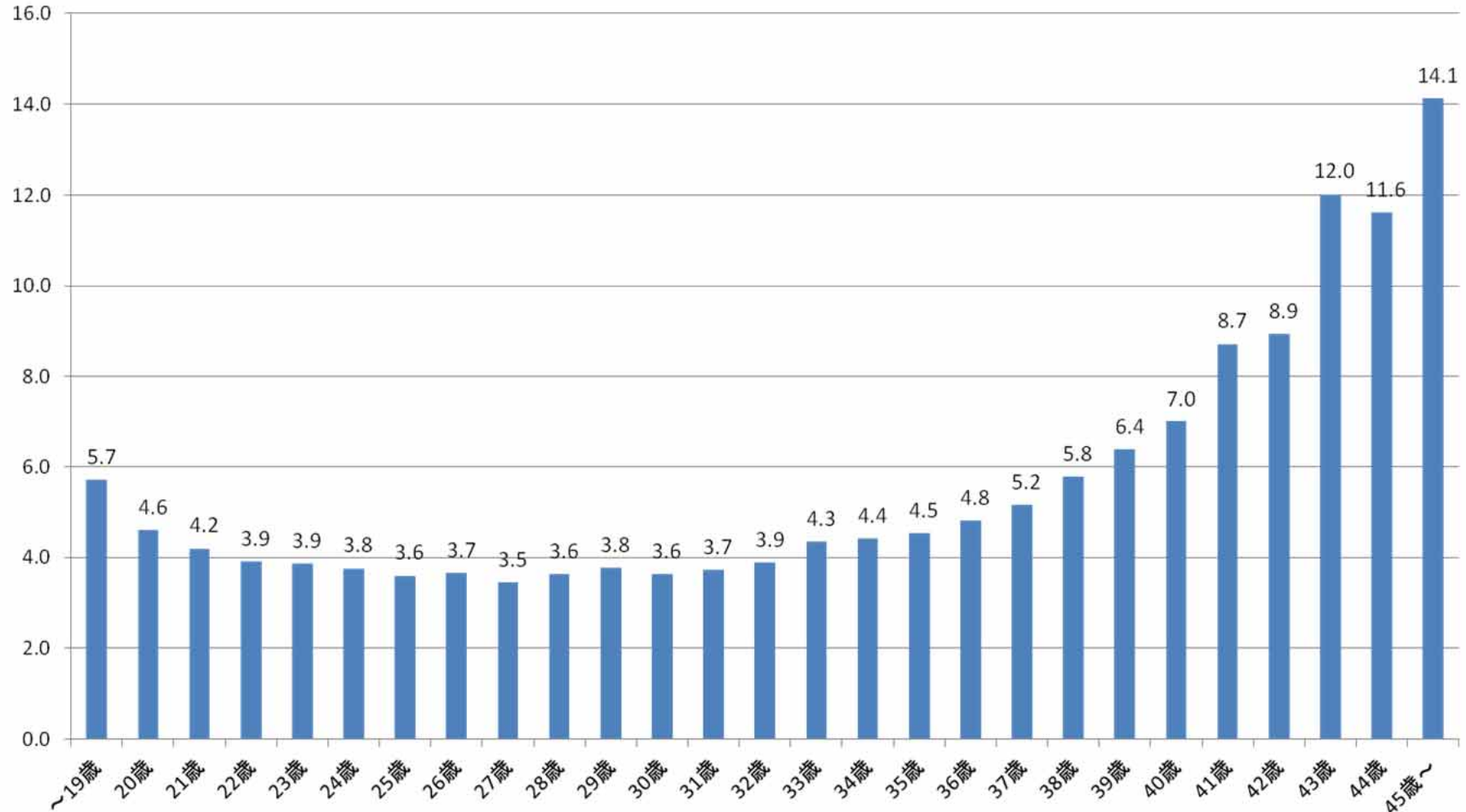
資料: 虎ノ門病院産婦人科 1989.1.～1991.7.データ

母体年齢と流産 周産期医学 vol. 21 no. 12, 1991-12

年齢別にみた周産期死亡率(出産千対)

(平成19 - 23年の平均値)

単位 件数/出産千対

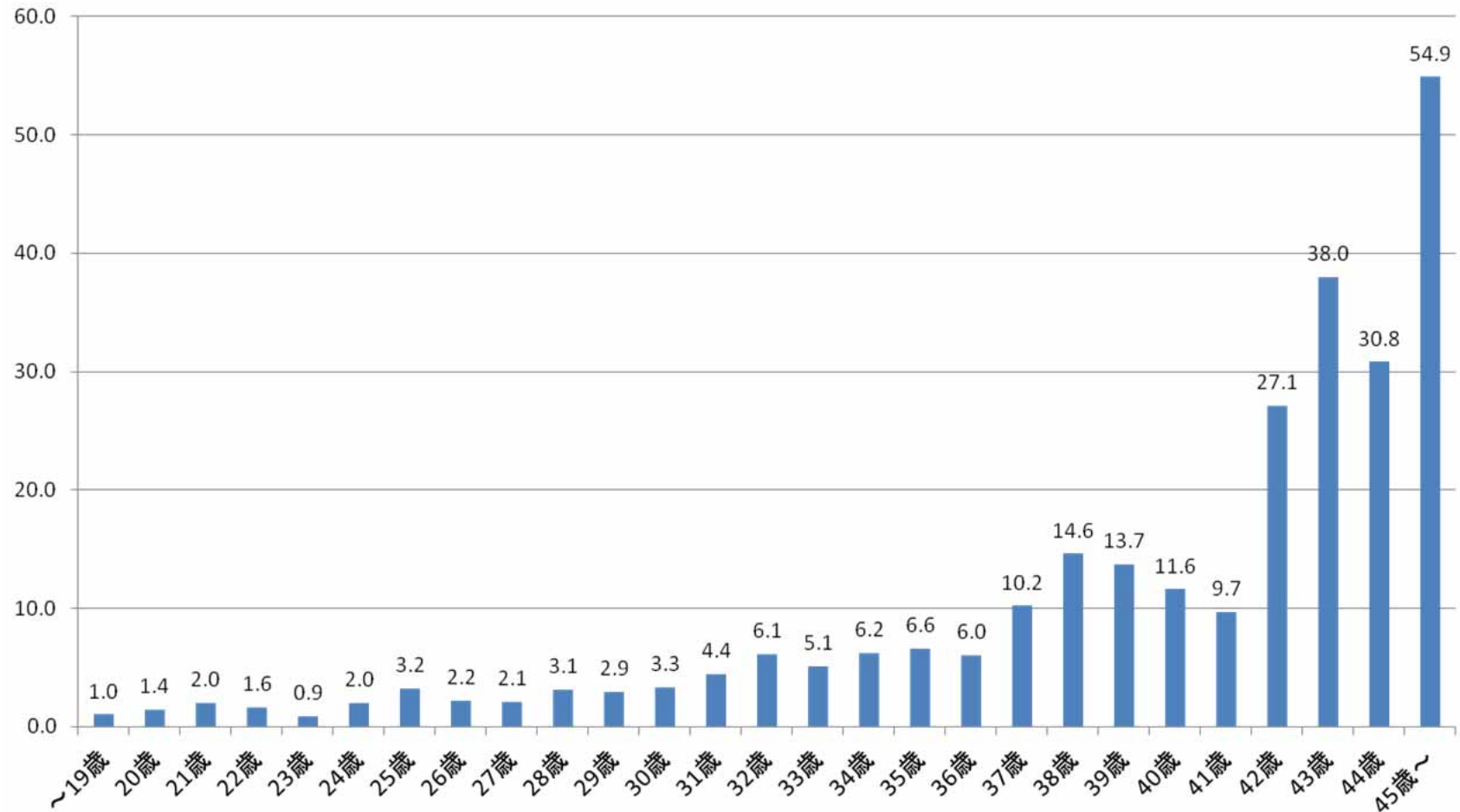


注: 1) 周産期死亡率は、一年間の周産期死亡数(妊娠満22週以後の死産数+早期新生児死亡数(生後1週間未満の死亡数))を一年間の出産数(出生数+妊娠満22週以後の死産数)で割ったもの(出産千対)である。

年齢別にみた妊産婦死亡率(出産十萬対)

単位 件/出産十萬対

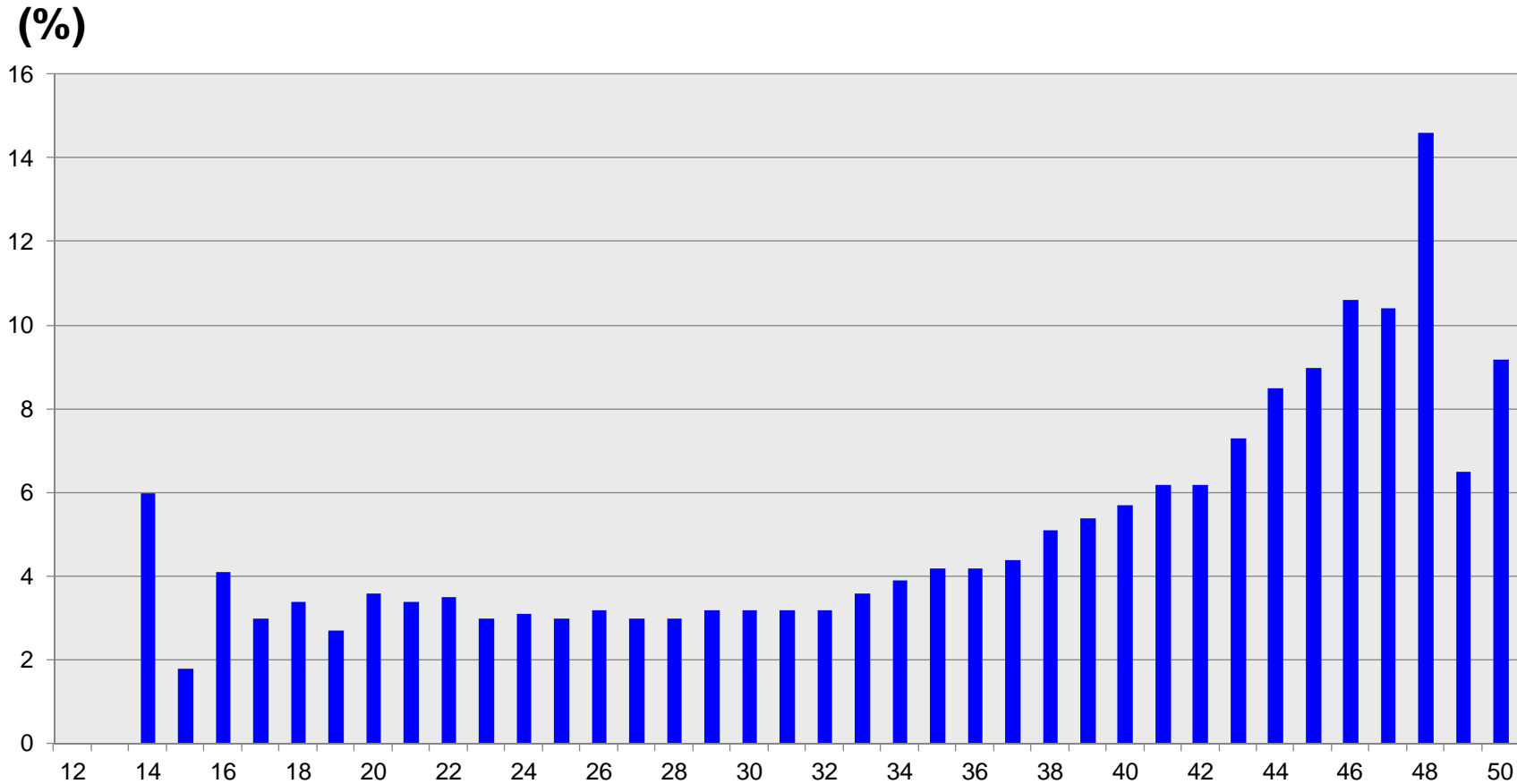
(平成14 - 23年の10年間の累計)



- 注: 1) 妊産婦死亡は、妊娠中又は妊娠終了後満42日未満の死亡で、妊娠の期間及び部位には関係しないが、妊娠もしくはその管理に関連した又はそれらによって悪化したすべての原因によるものをいう。ただし、不慮又は偶発の原因によるものを除く。
2) 妊産婦死亡率は、年間妊産婦死亡数の累計(平成14~23年)を年間出産数(出生数+妊娠満12週以後の死産数)の累計(平成14~23年)で割ったもの(出産十萬対)である。

年齢別にみた妊娠高血圧症候群の発症頻度

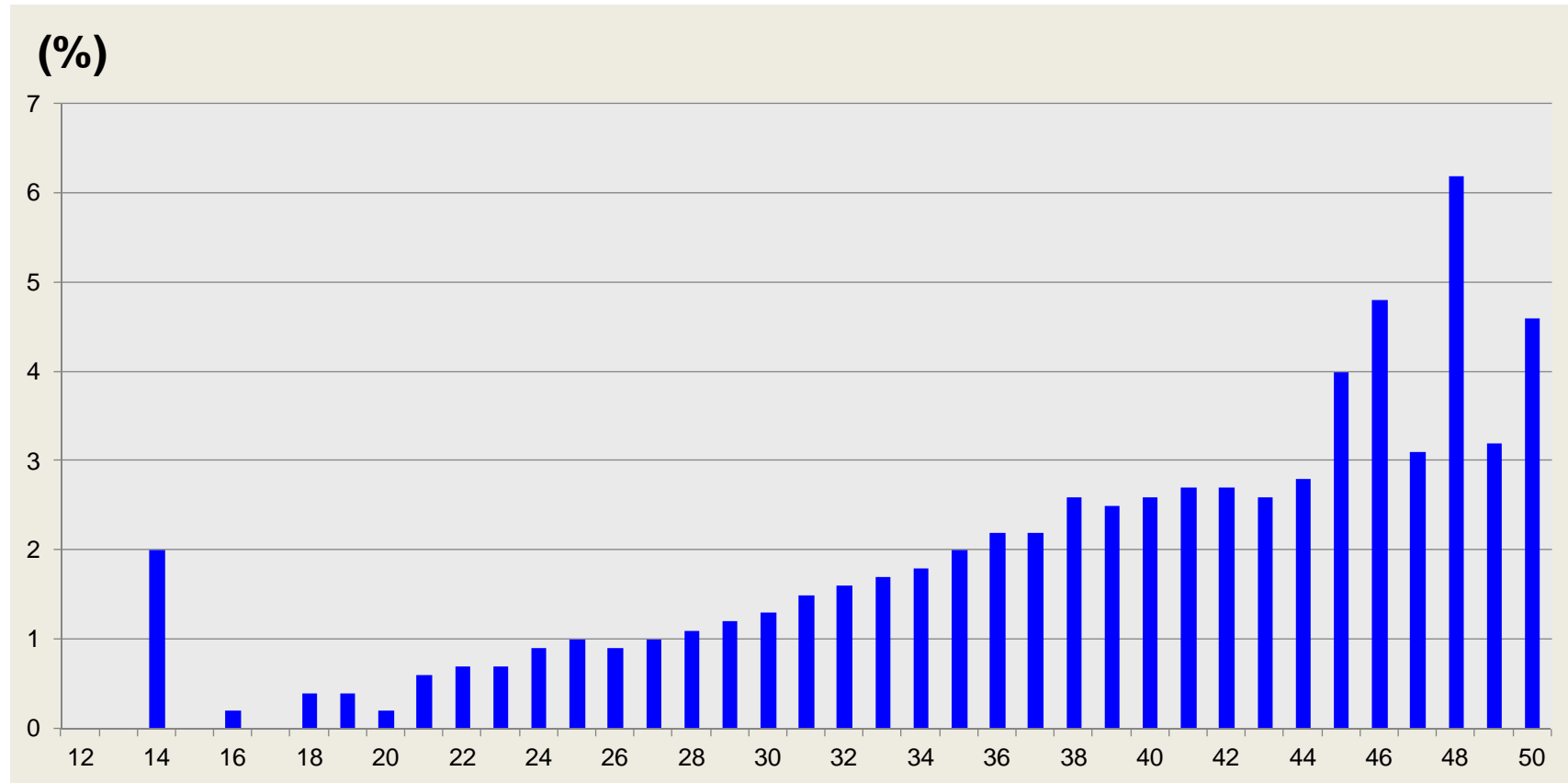
(n=21,262)



妊娠高血圧症候群は加齢に伴い増加し、
特に40歳を超えると急激に増加する傾向にある

年齢別にみた前置胎盤の発症頻度

(n=8,876)



前置胎盤は加齢に伴い増加する傾向にある

女性の年齢と子どもの染色体異常のリスク

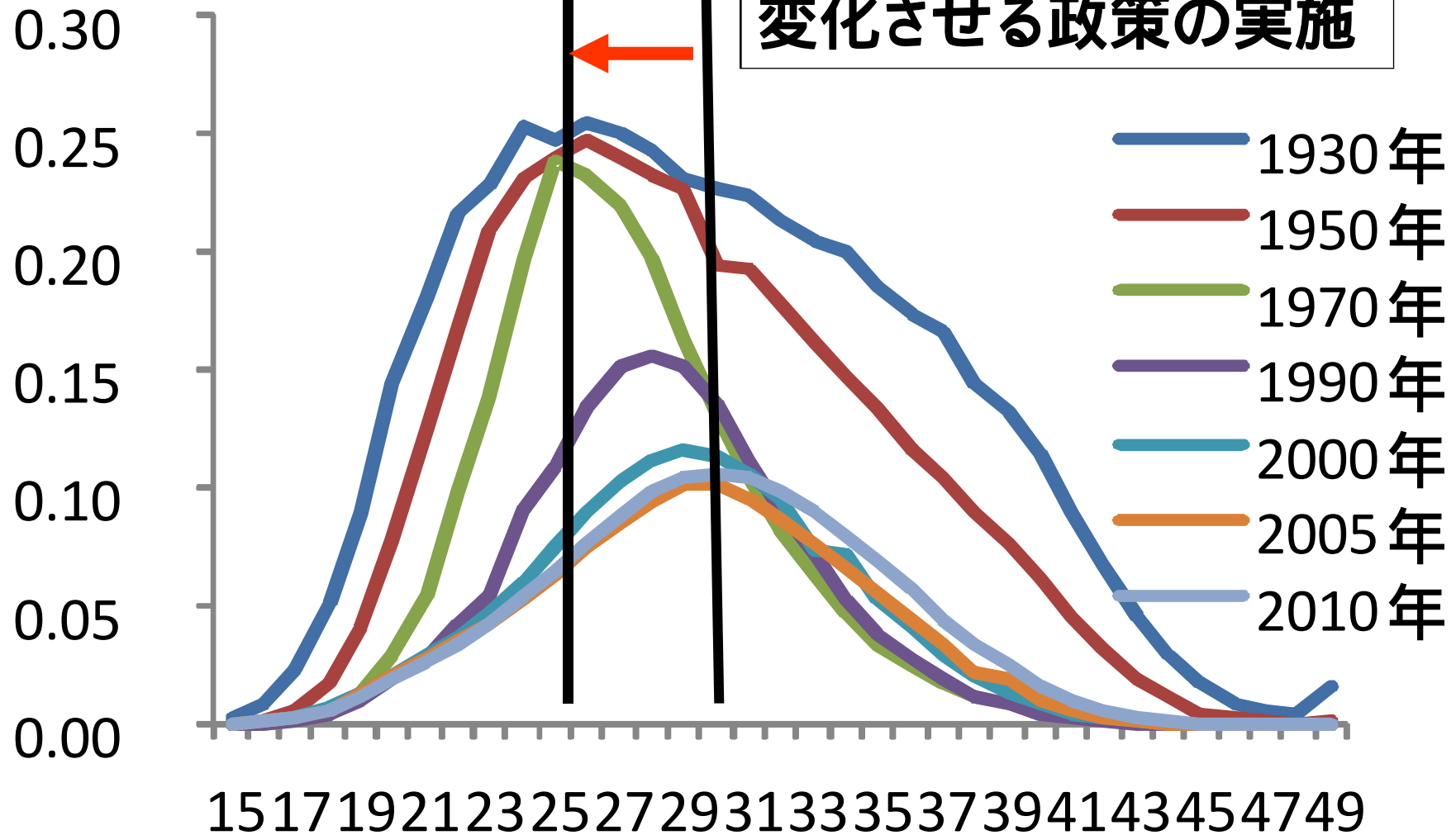
母の年齢	ダウン症の子が生まれる頻度		何らかの染色体異常をもつ子が生まれる頻度	
	出生千対		出生千対	
20	1/1667	0.6	1/526	1.9
25	1/1250	0.8	1/476	2.1
30	1/952	1.1	1/384	2.6
31	1/909	1.1	1/384	2.6
32	1/769	1.3	1/323	3.1
33	1/625	1.6	1/286	3.5
34	1/500	2.0	1/238	4.2
35	1/385	2.6	1/192	5.2
36	1/294	3.4	1/156	6.4
37	1/227	4.4	1/127	7.9
38	1/175	5.7	1/102	9.8
39	1/137	7.3	1/83	12.0
40	1/106	9.4	1/66	15.2
41	1/82	12.2	1/53	18.9
42	1/64	15.6	1/42	23.8
43	1/50	20.0	1/33	30.3
44	1/38	26.3	1/26	38.5
45	1/30	33.3	1/21	47.6
46	1/23	43.5	1/16	62.5
47	1/18	55.6	1/13	76.9
48	1/14	71.4	1/10	100.0
49	1/11	90.9	1/8	125.0

資料: Hook EB (Obstetrics and Gynecology 58:282-285, 1981)

Hook EB, Cross PK, Schreinemachers DM (Journal of the American Medical Association 249(15):2034-2038, 1983)
を元に母子保健課にて作成

年齢別出生率

提言：出生率のピークを
医学的な**妊娠適齢期**に
変化させる政策の実施



出生率 = ある年齢の女性から生まれた子ども数 ÷
その年齢の女性人口

国立社会保障・人口研究所
人口統計資料集2013